

知っ得 文化財

知ってちょっと得意になれる!

第22回「今に残る伝統的な屋根」

歴史ある建物が数多く残されている川越。それらの屋根には、現在とは違う材料や方法で葺かれているものがあります。市内の文化財に見られる伝統的な屋根をいくつかご紹介します。

屋根の始まりは、私たちの祖先が家を作るようになった時からと言われます。なぜなら屋根がなければ雨や風などの厳しい自然から身を守ることができないからです。わが国では、身近にある草などの植物を材料とした茅葺（草葺）

屋根が最も古いと考えられています。その後、木の皮や薄い板を使った檜皮葺や板葺（柿葺など）が考え出され、江戸時代以降は火に強い瓦葺へと変わっていきました。



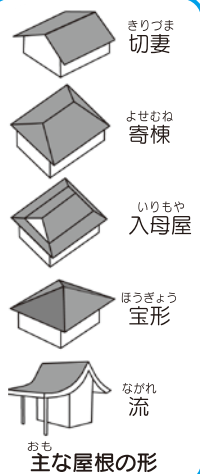
☆屋根瓦の葺き方にはどんな方法があるの？

本瓦葺 飛鳥時代以来の瓦の葺き方で、平らな瓦（平瓦）の間に丸い瓦（丸瓦）をかぶせるように並べていく方法です。

棧瓦葺 丸い瓦と平らな瓦を合体させたような形の瓦（棧瓦）で葺かれたもので、軽量で並べ易いため、江戸時代に考案されて以来現在まで広く使われている方法です。

☆屋根の形にはどんなものがあるの？

さまざまな種類がありますが、代表的なものは右図のように、切妻造り、寄棟造り、入母屋造りです。このほかにも、お堂などに見られる宝形造り、神社・社殿の流造りなどがあります。どれも雨水を効率よく流す造りになっています。

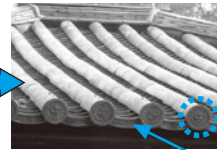


永島家住宅（旧武家屋敷）《茅葺・寄棟造り》



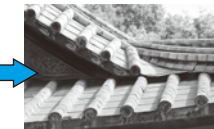
江戸時代後期建築

喜多院・慈眼堂《本瓦葺・宝形造り》



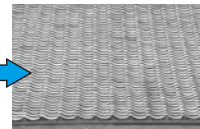
正保2年(1645)建築

仙波東照宮・拝殿《銅瓦葺・入母屋造り》



寛永17年(1640)頃建築

川越城本丸御殿《棧瓦葺・入母屋造り》



嘉永元年(1848)建築

市内の文化財を見てみると茅葺・板葺の建物が今でも残されています。その一つ、永島家住宅（旧武家屋敷）は金属製の屋根で覆われていますが、実は茅葺です。かつて城下にあった武家屋敷（中・下級武士）の多くは茅葺であったと思われます。

板葺の屋根は、喜多院・客殿、書院で見られます。これらの建物は、まだ瓦が一般的に使われる以前の江戸時代初め頃に建てられた数少ない建物です。茅葺や板葺は、自然素材ならではの温かみや柔らかさを感じられます。

瓦葺は、慈眼堂など喜多院にある建物に、本瓦葺という古来の方法で葺かれた屋根を見ることができます。現在、一般的に見られるのは、棧瓦葺という江戸時代になって考案された軽量の瓦を使ったものです。

このほかには、神社の建物などに銅で覆われた屋根があります。中でも銅の瓦が見られるのが仙波東照宮・本殿、拝殿です。銅などの金属は、江戸時代以降に屋根に使われるようになりますが、高価な銅の瓦となると東照宮など使われる建物も限られています。



このように市内には、時代の古い建物が残されているため、古来の方法で葺かれた、今では貴重な屋根を見ることができます。それらには、造られた時代の特徴とさまざまな材料を上手に使い、見事に仕上げた職人さんの技が見られます。

教育相談Q&A

◆子どもの学習について

【Q】中学一年生の娘を持つ母親です。不安だった中学校生活ですが、友達もたくさんでき、楽しそうに学校に通っています。部活はバレーボール部に入部し、一生懸命頑張っている様子で、充実した毎日を送っているようです。ただ、家に帰ってきて、あまり机に向かって勉強する姿が見られません。注意をすると、反抗されてしまいます。こんな状態でののか、とても気がかりです。親としての子どもへの接し方についてお聞かせください。

【A】親が、子どもの学習に関心を持つことは大切な事です。ただ、中学生は自我も芽生え、親の言うことに反発を感じるようになります。「勉強しなさい。」と注意をするよりも、まずは、お子さんのよいところを認めてあげることが大切です。部活動を一生懸命頑張っているなら部活の頑張りを応援してあげましょう。部活で頑張った経験や自分の頑張りを認められることが、自信になり、学習意欲にもつながっていきます。

家庭学習については、お子さんが勉強しやすい環境を整えることも大切です。ポイントとして次の点を気を配ってみてください。

①生活のリズムを整えましょう

毎日、継続して学習するためには、生活

のリズムを整えることが大切です。

まずは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付け、体の調子を整えましょう。気力、体力が充実してこそ、学習にもしっかりと取り組めます。

②会話を多くもちまわしましょう

食事の時間など、家族が一緒に過ごす時間を大切にしましょう。そして、学校での出来事を話題にし、子どもの理解に努めることが大切です。頑張っていることは具体的に褒め、悩んでいることがないか、見守っていきましょう。

③学習する雰囲気づくりをしましょう

時間になったらテレビを消すなど、約束を決め、学習に集中できる環境を整えましょう。

新聞やニュースを話題にしたり、読書をする時間を家族でもつなど、学習する雰囲気を作ることも大切です。

④学校の授業と関連させましょう

家庭学習も大切ですが、まずは、学校での授業に積極的に参加することが大切です。そのために、授業の予習・復習など、授業の内容と関連させて、家庭学習を行うとよいでしょう。自主学習したノートを学校の担任の先生に提出して、見てもらうのもよいでしょう。先生に認めていただくことで本人のやる気にもつながります。

川越市立教育センター分室（リベラー）では、教育に関するご相談をお受けしております。

川越市立教育センター分室（リベラー）

面接相談（予約制）：TEL2341-8333

電話相談：TEL2344-8335

育英資金 ～借入れ申し込み案内～ 問い合わせ…教育総務課総務担当TEL224-6074

来年4月から高等学校・中等教育学校（後期課程に限る）・高等専門学校・短期大学・大学・専修学校に進学する方または在学中の方で、経済的に学資金などの支出が困難な方に、無利子で資金をお貸します。

対象（次の要件をすべて満たす方）…①市内に引き続き6か月以上在住している②経済的理由で、学資金や入学準備金の支出が困難である③心身健全で、かつ学業成績が良好である

償還期間…貸付期間の2倍（据え置き期間＝卒業後6か月）

提出書類…①学資金・入学準備金借入申請書②校長の推薦書③成績証明書④健康診断書⑤住民票（家族全員のもの）⑥合格通知の写し⑦保護者全員の平成24年分源泉徴収票または確定申告書控えの写し

*①②の用紙は、教育総務課・市立中学校に用意してあります。市のホームページからもダウンロードできます。

（ホームページ＝<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>）

*⑥は、申込期間後の提出も可能です。

申し込み…平成25年2月1日（金）～3月1日（金）（厳守）に教育総務課（市役所東庁舎2階）

区分	貸付額		
学資金（月額）	高等学校	国公立	13,000円
	中等教育学校（後期課程に限る）		
	専修学校	私立	20,000円
	高等学校		16,000円
入学準備金	大学（短期大学含む）		30,000円
	高等学校	国公立	150,000円
	中等教育学校（後期課程に限る）		
	専修学校	私立	280,000円
高等学校		160,000円	
	大学（短期大学含む）		360,000円

※貸付決定にあたっては、審査があります。申請された方全員に貸し付けが決定されるとは限りません。